

(款) 55教育費 (項) 20社会教育費 (目) 10文化財保護費

◎保護整備の経費

公開宣伝事業

文化財課

【総合計画上の位置づけ】

歴史を継承し、文化を創造するまち

歴史環境: 豊かな歴史的遺産が大切に保全され、伝統的な文化が保存・継承されているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 市内に所在する文化財を紹介し、郷土への理解を深めるとともに、文化財愛護の精神の高揚を図るため。

効果 郷土への理解を深めるとともに、文化財愛護の精神の高揚を図ることにより、文化財を保護・保存し、文化財を後世に伝える。

【事業の内容】

(1) 公開宣伝事業

- ・郷土芸能大会、文化財めぐり、遺跡調査・研究発表会、埋蔵文化財の地下道ギャラリーパネル写真展の実施や、鎌倉の埋蔵文化財、鎌倉の文化財等の出版物の刊行等を行った。

【事業費】

(単位: 千円)

| 当初予算額 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------|------|------|--------|-----|
| 915 | 915 | 725 | | 190 |

主な支出内訳

・ 公開宣伝事業

| | |
|-------------------|-----|
| 郷土芸能大会消耗品費 | 55 |
| 「鎌倉の埋蔵文化財12」印刷製本費 | 187 |
| 「鎌倉の文化財21集」印刷製本費 | 132 |
| 郷土芸能大会ポスター等印刷製本費 | 170 |
| 市指定文化財標柱等設置委託料 | 76 |

平成21年度事務事業評価シート

| | | |
|---------------|--------------------------|---|
| 創意・工夫・課題等改善状況 | 課題・問題点 | (20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) (1)郷土芸能保存団体の構成員の高齢化による後継者育成。 (2)文化財総合情報システムの構築。 (3)インターネットホームページの充実。 |
| | 創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果 | (課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) (2)文化財総合情報システム構築のための検討を行った。 |
| | 未解決の課題・問題点 | (20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) (1)郷土芸能の保存団体の一部で構成員の高齢化が著しく後継者が不足しており、公開の場である郷土芸能大会への参加も困難な状況である。このままの状態では消滅する可能性もある。 (3)インターネットホームページの充実を図り、文化財の啓発に取り組まなければならない。 |
| | 今後の方針 (対応・改善) | (上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) (1)郷土芸能保存協会や小中学校等と連携し、郷土芸能の保存・後継者育成に取り組む。また、記録保存にも取り組まなければならない。 (2)平成21年度に現在の文化財システムの更新を行い、文化財総合情報システムの構築を行う。 (3)インターネットホームページの充実に取り組む。 |

一次評価(課長評価)

| | | | |
|---------|--|---|-------------|
| 今後の方向性 | A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止 | A | 改善の必要性 有 |
| | 郷土芸能を含め、貴重な市民の財産である文化財について、広く周知していくことが保護の目的でもあることから、公開・活用を充実していく必要がある。 | | |
| 担当課長氏名: | 中 里 一 男 | | |

二次評価(部長評価)

| | | | |
|--------|---|-----|-------------|
| 今後の方向性 | A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止 | A | 改善の必要性 有 |
| | 郷土芸能を含めた文化財は、歴史を知る上で貴重な財産であり、後世に伝えていくことが責務である。文化財を広く紹介し、理解を深めることで文化財愛護の精神を高揚することも必要であり、種々の公開宣伝事業の充実を図っていかななければならない。 | | |
| 担当部名 | 生涯学習部 | 部長名 | 金 川 剛 文 |